

因に云ふ學會に出席せる同窓生にして林正樹、齋藤忠治、三吉英雄外數名は止むを得ざる事情の爲め同窓會に出席し得ざりしものありしは遺憾なりき

(出席者)

末野包 樋
杉 右一
久保辰治
岡村善三郎
岡村儀人
中村吉太
財満平也
武波晋一
藤野直亮
小高與吉
彌政竹雄
登坂清喜
山縣修
柳義雄



岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

本會通常會は岡山醫科大學各教室集談會と合同し本月二十四日午後三時より岡山醫科大學附屬醫院臨牀講義室に於て開會せり田村庶務主幹開會を報じ直ちに左の演説に移る

第一席 大網膜に發生せる巨大なる肉腫(供覽)

佐野 進君

演者は内外文獻を參考として大網膜に發生する肉腫の比較的稀なることを説明し巨大なる肉腫を供覽せり。(自抄)

第二席 輸尿管開口部の脱出せる膀胱腔瘻の治癒例

河田 豐君

四回手術を受け治癒せざりし膀胱腔瘻患者に膀胱鏡検査を行ひしに、右側輸尿管開口部が瘻孔縁にあるを發見し、之に注意して手術せしため好結果を得たる一例を報告し、尿瘻手術に膀胱鏡検査の必要なる事を力説せり。(自抄)

第三席 所謂排卵痛に就きて

醫學博士 安藤 畫一君

月經と月經との中間期に規則正しく發する中間疼痛が果して排卵機能に因するものとせば「月經と排卵との時期的關係」なる産婦人科學上重大なる問題に一つの有力なる根據を與ふる所以を前提として、最近得たる極めて典型的なる一例の詳細なる觀察を述べ、少くとも同例に於ける中間痛及び排卵と密接の關係を有すとの推論に誤りなかるべきを説き、以て「排卵は月經週期の中間に發起す」との最近學說を承認すべきものなりと結べり。

第四席 私の考案せる二三の泌尿科器具

醫學博士 安 藤 晝 一 君

最近演者の考案せる膀胱鏡支持器、膀胱鏡檢査用模型、膀胱鏡所見記入用「スタンブ」竝に膀胱三角部腐蝕器を供覽し其便利なる點を説明せり。

右終りて藤田會長閉會を告げ午後四時半閉會す。

原 著 紹 介

●愛知醫學會雜誌(第三〇卷第二號)

鼠瘻移植ノ實驗的研究

第三、鼠瘻移植ト被移植動物年齡トノ關係

附、鼠瘻ノ胎兒内移植ニ於テ (大島福造)

最近十年間ニ於ケル皮膚病、黴毒及ビ泌尿生殖器病ノ統計的觀察ニ就テ(承前) (總永應)

七日熱「スピロヘータ」ノ被凝性ニ就キテ (柘植恭一郎)

白血病患者ノ免疫體發生ニ對スル關係ニ就キテ (淺川賢一郎、鷺見謙一)

中樞神經系統ノ興奮性ニ影響スル藥物ノ實驗的研究 (中島角次郎)

●醫事新聞(第一一一六號)

「ノヴァズロール」ガ浮腫患者ノ水分及ビ食鹽代謝ニ及ボス影響ニ就テ(小林義雄)

肺腺原發癌ノ組織學的研究(承前) (村山小七郎)

白金及ビ銀「エモリソール」ノ臨牀實驗 (池田外喜男)

●醫事新聞(第一一一七號)

高齢者ノ血壓ト夜間多尿症ニ就テ (金田精一)

心囊炎ノ診斷ニ就テ (白石又城)

慢性濕疹ノ「レントゲン」放射治療成績 (郭瑞元)

橫隔膜神經ヲ摘除セル家兎ノ病理解剖的所見 (内藤八郎)

鹽酸「ヒドラスチニン」バイエルニ對スル臨牀上ノ實驗 (街風俊雄)